

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2014/04/25

第 10 号

幹の会(中央 OB 会)第 2 回総会開催される

～ 琵琶湖グランドホテルに 40 名が参加(4/20・21)



基幹労連シニアクラブの構成組織で、基幹労連本部役職員経験者と総合諮問会議経験者による「幹の会(中央 OB 会)」の第 2 回総会が、4 月 20 日・21 日に滋賀県の琵琶湖グランドホテルにおいて開催され、40 名が参加しました。

総会では、斎藤敏郎(住友重機労連)氏が座長に選出され、始めに宮園哲郎(新日鉄住金労連)代表から「退職者の会を基幹労連のすべての県本部に設置すべく幹の会役員を中心に取り組みを進めてきた。昨年の参議院選挙の結果はオール基幹労連の力が不十分であったといわざるをえない。超高齢社会の進展の中でわれわれ OB も政策実現のための力を高めていかなければならない。今後、幹の会総会に多くの人に参加できるように工夫をしていく。現在、関東地区にある地域幹の会を、会員の多い関西、中部地区等にも設置できるよう支援していきたい。」との挨拶がありました。

続いて基幹労連を代表して吉岡正親副委員長から「結成からこの 1 年間、参議院選挙を始めとした基幹労連の取り組みへの協力に感謝する。OB 会は基幹労連にとって組織最大の理解者であり、支援者である。OB 会の輪を拡げていくことが重要であり、基幹労連 38 県本部すべてに退職者の会を結成すべく取り組んでいく。基幹労連の諸活動に対し、OB 皆様のご支援、ご協力をお願いします。」との挨拶がありました。

その後、小栗啓豊(JFE スチール労連)事務局長から昨年の4月22日の結成総会以降の活動経過と今年度の活動計画、田中勉(三井造船労連)副代表から決算報告が行われ、それぞれ確認、決定されました。



【基幹労連 吉岡副委員長】



【基幹労連 工藤事務局長】

また、特別報告として基幹労連工藤智司事務局長から「第7期に向けた基幹労連の現況と課題」と題して特別報告が行われ、参加者一同、現役の活動に対し理解を深めました。具体的には「第6期の反省を踏まえて、組織力量をいかに高められるか、聖域なき財政再建をいかに進められるか、産別の力量を発揮できる領域でいかに実績を積み重ねられるか、重大化する災害をいかに食い止めるか、連合運動とのさらなる連携をどのように進めていくか」などの課題について考え方が披瀝され、幹の会メンバーに対しても理解と協力を要請されました。

総会当日は久しぶりに会った仲間との旧交を温めました。懇親会は西澤昇治郎(IHI 労連)副代表の乾杯で始まり、夜遅くまで和やかな懇談が行われました。また、二日目は有志による野外交流会を実施し、友好を深めました。

岩手県本部「退職者の会」設立総会を開催しました。

岩手県本部は、結成10周年を迎えた節目の年である昨年11月に「退職者の会」の設立を確認し、4月12日に「退職者の会」設立総会を開催しました。会員は、構成組織役員OBを中心に構成し(登録会員は19名)、会長には新日鐵住金釜石労組出身の千葉清則氏が確認されました。

具体的な活動は、三役会・幹事会等で議論し進めることとなりますが、シニアの皆さんが生き活きと安心して暮らせる社会・環境づくり等をめざし、楽しく活力のある活動を展開していきます。

(岩手県本部事務局長・松本哲也記)



【岩手県本部退職者の会 千葉清則会長】

千葉県本部「退職者の会」結成総会を開催しました。

千葉県本部では、基幹労連シニアクラブの結成に呼応して、三役会議及び幹事会で千葉県本部退職者の会を早期に設立するべく、議論を行ってきました。

退職者の会の会員要件を、基幹労連千葉県本部幹事役員経験者で、定年退職をされ、かつ、組合員OBとして設定した結果、役員経験者12名の方々に構成することとしました。4月21日（月）、基幹労連本部の吉岡副委員長、シニアクラブ宮園会長を来賓として迎え、千葉県本部との認識の共有化を図る事を目的として、県本部幹事役員・議員団会議メンバーも参加して「千葉県本部退職者の会結成総会」を開催しました。会長には JFE スチール千葉労組出身の野村康男氏が確認されました。

今後も、千葉県本部として、シニアクラブ・退職者の会・県本部議員団会議と密に連携を取りながら、退職者の会を側面から支え、千葉県本部全体が一体感を持って諸活動を展開するべく、邁進していきます。

（千葉県本部事務局長・白木敏男記）



【千葉県本部退職者の会 野村康男会長】

大分県本部「退職者の会」紹介

大分県本部は21組織で構成されています。OB会組織については、1組織のみが役員OB会として組織化されている状況下にあります。大分県本部としては当面、その組織である「新日鐵住金大分労働組合役員OB会」を母体として、基幹労連大分県本部「退職者の会」の設置（結成）を、2014年3月26日開催した第19回幹事会にて確認しました。

なお、代表世話人「藤元宏紀氏・齊藤忠夫氏」として、会員数151名となります。

今後は、大分県本部としても各構成組織と連携を取りながら、OB会組織化に向けた対応に注力していきます。

（中央執行委員・吉富和秀記）

熊本県本部「退職者の会」紹介

熊本県本部は4組織で構成されていますが、OB会組織については、1組織のみが組織化されており、基幹労連退職者連絡会代表者会議には、唯一のOB会組織である「日立有明OB会」から、代表者に出席していただいていた。

しかし、2013年4月に「基幹労連退職者の会」が結成されたことから、熊本県本部としても退職者の会設置に向け準備を進めてきましたが、他の構成組織でのOB会組織化が難しいことから、2014年4月5日（土）に、1組織ではありますが熊本県本部退職者の会運営をスタートさせました。

今後、熊本県本部としても各構成組織と相談しながら、OB会組織化に向けた対応を図り、熊本県本部退職者の会の円滑な運営に微力ながら関わっていきたいと考えています。

（熊本県本部事務局長・馬場清治記）